

手づくり
ログハウス
宣言

特別企画

ヤツホー児玉のモニター報告

小誌2002年3月号で募集したミニログ・キットモニターに当選した、児玉さん一家の手づくり奮闘記！



児玉幸春さん

3年前に軽井沢に移住。東京へ遠距離通勤しながら近い将来のログ生活を夢見る54歳。傍らには奥様の静子さん



約2年前に小誌で募集したキットモニター企画は、ログ・メーカーが提供するミニログ・キットを、一般の読者が自力で建築し、その記録を小誌でレポートする、というものだ。読者の皆様から多数の応募をいただいたこの企画に当選したのが、ここに登場する児玉幸春さんだ。

児玉さんは、東京で建築関係の会社に勤める1男2女のお父さん。しかしその正体は、軽井沢の中古別荘を買い取り自然の中の生活を満喫している自称「ヤツホー児玉」なのだ。野望は広い敷地内にログハウスを建てること。ひよつとしてそこでペンションをやってみるのかもしれない。そんな夢へ踏み出す足がかりとして、ミニログ建築に挑戦することになったのだ。作業メンバーは、本人、奥様の静子さん、長男の太郎さん、長女のパ子さんと彼氏の湯浅臣史さん（シン）、次女の歩さんと彼氏の高松宏光さん（ヒロ）の7人だ。当初は会社の友達が手伝ってくれる予定だったが、転勤で来られなくなった。そのためログや建築についての知識や経験があるのは児玉さん本人だけの作業となったが、家族の協力で作業人数はばっちり。建築地は母

屋の奥、ニワトリ小屋の隣なので、ときにはひとりニワトリたちの鳴き声に励まされ(?)ながら、ときには大勢でニワトリの声をかき消すほどにぎやかに、作業は進んでいった。

しかし昨年冬の雪の多さと、今年の夏の雨の多さという天候不順に悩まされスケジュールは大幅に遅れていく。1回の作業日に雨が降ると、工程が2週間遅れとなってしまふ、土日のみの作業日程の難しさを痛感することとなった。加えて、地下室を設けたり、家庭菜園が忙しくなったりといった児玉さんのこだわりもあり、作業開始から1年という日数を経ることとなる。しかし2度目の冬が来る前に無事に完成の運びとなった。完成日は奇しくも結婚30周年を迎える直前となり、記念碑的なミニログとなったのだ。



キットづくりに使った道具。墨つぼは20年来的愛用品だ。もともと大工仕事が趣味だったので、新たに買い足した物は替え刃などわずかですんだ

2002年10月27日
やっと晴れて断熱材敷設

落ち葉に
邪魔
される

週末が雨続きでなかなか作業を進められない。今日は快晴でやっとハイサイレント(断熱材)敷設が完了し、測量、墨だしができた。秋も終わりに近づき、雨のように落ち葉が降ってきて墨だしの邪魔をする。冬は地面が雪に埋まってしまうので、作業ができなくなってしまう。雪の前にログを積めるといいけど……。



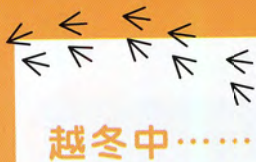
2002年9月30日
ユンボであっという間に根切り工事

ここに
つくるぞ!

敷地の整備と将来のログハウス計画のために用意していたユンボが活躍。おかげで整地は1時間で終わる。ただ、周囲のカラマツを傷つけてしまい、かわいそうなことをしてしまった。



掘っていくと砕石が出てきたので、そこを底にすることに。すぐ横にリッパなカラマツがあるので、それを伐らないように気を使う。このころに、ログ搬入日と鉄筋入荷予定日が決定した。



越冬中……



2003年4月26日

春が来て、ベース配筋をする

ようやく雪が溶けた。基礎の構造は、ビニールを敷いた上に断熱材を敷き、鉄筋を入れてコンクリートを打つことにした。断熱材代わりに、会社で扱っている高速道路の防音壁などに使う吸音板をもらって、それを敷設する。1枚3,600円ほどするのでもらえたのはありがたいが、総重量7.5tなので家で運んでくるのが大変だった。家づくりの部材は、本体価格に比べて送料がばかにならなかつたりする。吸音板を切るのには丸ノコを使ったが、刃をだめにしてしまった。鉄筋を入れて本日は終了。



断熱材
代わりの
吸音板

2002年11月9日 雪が散らつく中、ログ材搬入!

もう冬が
来ちゃった!



今日は、いよいよログ材搬入日です! トラックから現れたのは膨大な量のログ材とその他部材。しかし天気はイマイチで雪が散らつてきた。思ったより冬が早いぞ。母屋の横に台をつくって、その上に降ろす。1日2万5,000円でクレーンを頼んだので、簡単に終了した。ブルーシートを掛けて雨を防ぎ、基礎の完成を待つことになる。しかし、この後とんとん雪が降ってきて、ログは雪の下に……。基礎の工事も続きができなくなってしまう。ログにはブルーシートを掛けてあるから大丈夫かな?



2003年5月10日

ひと冬越えて、ログ材ご開帳!でも……濡れていた……

家族全員と娘の彼氏が集まったので、全員で材料点検。予想に反し、シートの中のログ材はボトボトに濡れていた! 棧が歪んでいました! 色が変色していました! とくに一番上に置いていたドアと窓は濡れがひどくて膨張してしまい、後にカンナで削ってログに納めることになった(実は建具は室内保管、とマニュアルに書いてあった)。木の保管をきちんとしておかないと、余計な作業が増えて大変になることを学んでしまった。そして、ログ材の合間には穴のあいた木の実の殻がいっぱい。リスでもこの中で冬眠してたのかな。



カビて
しまった
……



2003年4月28日

生コン車が敷地に入らず、手作業で基礎づくり

手製シュートが
役に立たず

本日は月曜日。休暇をとって作業する。近所のセメント会社から生コンを購入したが、4t生コン車が建築地まで進入できず、静子さんとふたりで一輪車で運搬することになった。せっかく生コン用すべり台をつくっておいたのに、残念。それにしても1㎡のコンクリートを運ぶのはきつかった。大きなログハウスをつくる際には、資材の搬入を考慮しておかなくちゃ。工事中に敵が出てきて、単なる基礎を半地下室にしかなくなってきた。型枠も吸音板を使う予定で、そのための用意にも手回取っている。でも、6月が7月には完成かな?



2003年7月10日

梅雨にたたられつつ、基礎工事

やりたいことが
いっぱい大変!

サンデー大工さんは雨と戦っています。予定では5月中旬に基礎を完成させたかったのに、大幅にずれてしまいました。近々に最後のコンクリート工事の予定が入っているから、雨でもなんでも型枠工事をしなくちゃ。生コン運びで静子さんとともも筋肉痛。基礎を地下室にするために、アルミサッシの建具を入れたり、採光とデザインを兼ねてガラスブロックを入れたり、薪ストーブを入れたらいいので煙突用の穴をつくったりと凝ってしまい、時間がかかる。



2003年7月20日

生コン・パケツリレーで基礎工事完了

わが家の
カラマツ・
太郎の作品



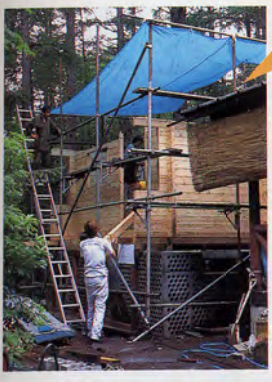
ついに基礎が完成。最後は私と静子さん、円・シン、歩・七口の6人で、死にも狂いの生コン・パケツリレーをする事になった。予想を裏切ってコンクリート会社の運ちゃんの手伝ってくれない。8月に一週間お盆休みをとっているから、そこで何とか完成させたい。皆でマニュアルのビデオを見て予習中です。



加えて、基礎の中を地下室として使うために丸太の梁で床の荷重を支える構造にしようと思いい敷地のカラマツを切り倒して磨き丸太を製作中。さらに、キツづくりと同時進行で、近所に畑を借りて、じゃがいも、トマト、いんげん、とうもろこし、枝豆など、これも欲張って植えたので、忙しい!



一日8段のベース



2003年8月10日~
いよいよログ積み始まる

台風がちょっと気になりつつ、ログ積み始める。心配されたログ材のぬしれや歪みはそれほどなく、両側から押さえて入れれば積める程度だったのでひと安心。ただ、シミがついてしまったのが残念。だんだんログハウスの形が見えてくる。成果が形になってくる作業は楽しい! やっている時間を忘れちゃうくらい。と、いいつも朝9時から始めて、夕方5時ごろ、暗くなったら作業終了。6人で、一日に8段のログが積めているので、思ったより順調に進んでいる。でも毎日雨でシートを張りながら作業しているのは、はかどり加減はイマイチなのかな。

2003年8月3日
足場&最下段ログの設置が完成!

高い基礎をつかったので、ログ積みをする位置が高くなる。そのためと、後々いろいろ使えるので、足場も購入してしまっ。値段は4万円、それに送料が2万円。今日は最下段のログも設置したので、皆が集まったらすぐに積みはじめる。なんか予定どおり準備ができてよかった。ただ、やっぱり天気あまりよくないのでブルーシートを掛けておく。基礎の残りの吸音板でふたつ目の二つ小屋をついたら、それぞれ的小屋でボスができたらしい。卵を産んでくれるからまあいいけど、絞めて食べるのはいざとなるとできないなあ。



準備万端!

2003年8月12日 にぎやかにログ積み完了!

楽しいログ積みもいよいよ最終段階に入ってきた。朝は少し雨が降っていたが、ひどくならずにやんでよかった。室内側からも脚立が必要の高さになってきたぞ。ログのサネにテープ状の断熱材を張り、ログ材に書かれた番号とおりのログ材を重ね、ログ材の左右を交互にカケヤで叩いてノッチを納め、タボを打ち込む。人数がいるので、ログ材を運んだり、床から道具を取ったり、ログ材の両側を叩いたり作業がスムーズに行く。でも私は、昨日食べた刺身の残りにあたったらしく、調子がよくないので、半日は若者に作業を任せる。

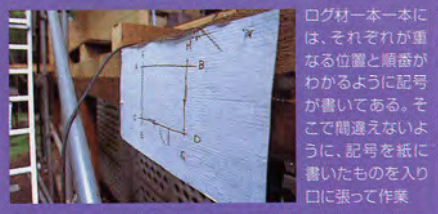


断熱材を張って……

次に積むログを運ぶ check!



次はどれ?



ログ材一本一本には、それぞれが重なる位置と順番がわかるように記号が書いてある。そこで間違えないように、記号を紙に書いたものを入り口に張って作業



気をつけてね



タボが打ち込む途中で割れてしまった(この現象を「爆発」と命名)といった小さなトラブルはありつつ、ほとんどマニュアルどおりに進んだ。ただ、一本ホゾがきちんと切れていない材があり、見よう見真似でホゾをつくっていたら1時間もかかってしまった。その間は作業中断。予備材を使えばよかったことにはあとから気がついた。



タボが爆発しちゃった

建具枠を調整中 check!

ドアの上の材を積む前に、建具が納まるようにログ材の太さを調整。積み上げたログ壁の高さを測り、ドアの高さとの差を出す。その差の分、丸ノコで切れ込みを入れ、ノコギリで落として完成。これを積んでおけばドアが入るはず





お屋ごはん♡

作業は小屋組みにかかっていたが、そろそろ昼食時。母屋のデッキの下で、皆で昼休みをとる。今日のメニューは静子さんのつくったオムライスだ。残り少なくなってきたログ材をマニュアルを見ながら組んでみると、三角形の屋根の形になった。いよいよ家らしくなってくる様子。歩・ヒロは昼過ぎに帰り、静子さんはふたりを送っていくため、円・シンと3人での作業になった。小屋組み部分にはもうノッチがないので、載せてダボを打ち込むだけ。ペースも速い。壁が高くなったので足場を組みなおして、ついに棟上げ!

ちゃんと入るかな?

通しボルトを入れるbeck!

いよいよログが積み上がり、仕上げにログ材のずれを防ぐための通しボルトをログエンドに入れる。その前には、座金が納まるスペースをノミで彫り込む作業がある。ログの一番上に乗ってノミを振るうのは、高所恐怖症だったら無理かも。寸法どおりの位置を彫ると通しボルトの穴が出てくるので、上から下にボルトを入れて、下からナットで締めたら完成。ミニ二コログといえども建ててみると、ログハウスの構造がよくわかる。これが終わるころには日も傾いてきた。空模様がやっぱりあやしいのを気にしつつブルーシートを掛けて、本日の作業は終了!



積み上がってきたぞ!



あと少しだね



棟上げだ!



2003年8月15日
雨の中、ひとりで
野地板張りの続き

残った半分の野地板張りをやっちゃわないとならない。しかし14日は終日雨のうえに、気温も日中で15℃しかない。8月なのに、夏休みなのに、寒い。仕事にならない。翌日の15日朝から雨なので、午前中は建築資材購入のために遠出をすることにした。戻ってくると午後1時。それから残りの野地板張りをひとりで作業した。なんとこの日、仕事の終盤で誤って足場から落下する事故があった。屋根の高さからの落下なので、かなり危険だった。建築中、唯一にして最大の事故。幸い、指に擦り傷2カ所と腰の打撲という軽傷で済んだが、改めて安全第一を誓う出来事だった。



実はこの日、足場から落下

2003年8月24日
400枚の瓦を人力で上げた屋根工事

今日はよいよ瓦葺き作業。しかしこの天然スレート瓦、要するに石の板なので、重い。皆でリュックサックに瓦を詰め込んで屋根の上まで登る。完成後に振り返ってみても、この作業が一番ツラかった。しかも天然石なので、一枚一枚微妙に厚みが違う。重なり具合を調整しながらの作業で難しい。棒がはみ出す部分は電動ドリルで穴をあけて切った。しかし、さすがに仕上がりがいい雰囲気。本当は棟に板金を載せるものだと思うけど、この屋根に似合うものが見つからないので、当面はこのまま。ひょっとしてこのままだと雨漏りとか、するかな。



厚みが一枚一枚違う……

2003年9月15日
丸太を切って、階段工事



デッキの階段が完成。わが家のカラマツを半割りにして、余り材の踏み板を付けたのだ。薪割りに使うので、今回はチェーンソーも購入した。そろそろ冬に備えて薪割りもしなければ、細部もぼろぼろ仕上がってきた。シルログは屋根材の余りで覆ってみた。白いペンキがあったので建具の周りを塗る。窓枠を高く塗ろうとやってみたが、室内からペンキのはみ出しが見えるので1枚でやめた。

2003年8月13日
ブルーシートの下で野地板張り

本日も朝から雨模様。まずはブルーシートでの雨養生から作業が始まる。雨だとブルーシートを張ったり外したりしながらの作業となり、とってもやりにくい。この日、実はミニログに付けようとするベルックスの天窓を用意していた。しかし取り付けようとしてサイズを測ったら、いまの母屋周囲では入らないのが判明して断念。がっかり。気を取り直してシンと一緒に野地板張りに取り掛かる。高所恐怖症の静子さんと円は地下室のコンクリート補修をしてくれた。午後4時ごろにシンは帰り支度。それでも野地板は今日のうちに半分終わらせられた。



今年は雨が
 多いなあ

2003年8月16日
高所恐怖症の奥さんと屋根張り準備

夏休み作業週間も今日で終わりというのに、雨だった。今日は屋根作業なのに静子さんに手伝っていただいた。静子さん本人は高いところが怖いので俺がけ。ありがとう！今日は、抑振材兼断熱材のトーシックスを野地板の上に張り、水切り板金の打ち付けで暮れました。今回は瓦葺き作業。屋根材はキットに含まれていなかったで、メーカーに見積もりを頼むと12~13万円だった。それならインターネットで探して、安く天然スレート瓦をゲット。1枚1,500円のところが400円！全部で15万円。なんと石原裕次郎の家の屋根材と同じものだとか。

夏休み作業週間も今日で終わりというのに、雨だった。今日は屋根作業なのに静子さんに手伝っていただいた。静子さん本人は高いところが怖いので俺がけ。ありがとう！今日は、抑振材兼断熱材のトーシックスを野地板の上に張り、水切り板金の打ち付けで暮れました。今回は瓦葺き作業。屋根材はキットに含まれていなかったで、メーカーに見積もりを頼むと12~13万円だった。それならインターネットで探して、安く天然スレート瓦をゲット。1枚1,500円のところが400円！全部で15万円。なんと石原裕次郎の家の屋根材と同じものだとか。

2003年9月13日
予備材も活用して床・ベランダをつくる

今日は床工事。幸い、床材が多く届いていたので、軒の下まで床材の余り材を使ってデッキを拡張した。その分拡張できたものの、パーベキュースペースに向かう石段がデッキの下に入ってしまった。石段の脇には木が生えているので、支柱を付けるとデッキをくぐらなくと向こうに行けなくなる。あと、位置が高いので手すりがないと危険だ。ちょうどよく長い予備材が残っていたので、これを活用することにする。



ベランダ
 拡張!



児玉さん手づくりのはしごを下りると、室内は立って歩ける天井の高さがある。いまは内装仕上げの途中だ。ログとのすき間も、一部は塞いだ(写真上右)が、一部はあいたまま(写真上左)。これから照明を取り付けて、床にはタイルを張る予定。吸音板の壁をどうするかは検討中。手頃な値段の物が見つかったら薪ストーブも入れるつもりだ。これは地下のストーブの暖気で上のミニログも暖房する計画だが、換入路となる窓が大きく開かないことに気がつき、機種はかなり限定されそう。給排水工事ができればここにトイレもつくるつもりだったけど頓挫中だ。



室内の片隅にある床下収納。これは数々のアイデアでミニログを数倍楽しむ児玉さんの工夫のひとつ。床を切り抜いて買ってきた床下収納庫のふたを付けているわけだが、実は地下室に下りるための入り口なのだ。地下にドアはなく、基本的にここが入り口。太ったら入れないかも。

未完成部分・地下室



満足度
98%!

2003年9月21日 仕上げに手すり、外壁塗装工事

デッキの手すりをつくり、外壁、内壁の塗装も終わってひと安心。木の雰囲気を生かしたクリア塗装です。内壁塗装は静子さんと田が担当してくれました。静子さんは塗装は楽しかった様子だ。母屋から電線を引いて、電気もついた。積み上げのときに気をつけていたものの、電気配線の穴をいくつかタボで塞いでしまったらしく、天井近くにしが照明が付けられなかったのが残念。照明器具はヨドバシカメラで購入。給排水工事もしようと思ったが、母屋の浄化槽はミニログより高い位置にあるので使えない。ミニログのために浄化槽をつけるのは予算的に無理だなあ。



奥さんの
チカラ!

2003年9月28日 足場解体。完成!

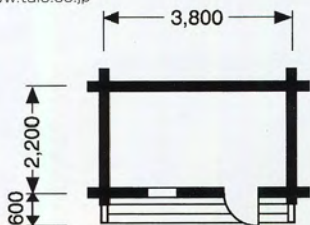
足場を片づけ、周りを埋め戻す。やっぱりプロのようにはいかないので、細かいところでちょっとしたすき間が目につくので満足度は98%かな。どんなふうに使うかは考えていなかったで、楽しく検討中。結婚30周年を祝って静子

さんのために電気マッサージ椅子を入れるか。娘からはDVD鑑賞ルームの案もある。どちらにしても音楽は聴けるようにしよう。うーん、「男の隠れ家」になるのは地下室だけかもしれない。でもソファベッドは入れたいな。まだ地下室など手を加えるところがあるけど10月14日が結婚記念日なので、その日を完成日としよう。



thanks to (株)TALOインターナショナル

〒157-0066 東京都世田谷区成城9-30-12-107
☎03-3482-4555 ☎03-3482-4566
http://www.talo.co.jp



LOGHOUSE DATA

●延べ床面積=2.53坪(8.36㎡)／デッキ=0.69坪(2.28㎡) ●構法=丸太組み構法(スクエアノッチ) ●使用ログ材=フィンランド・パイン(サイズ=7.0×14.4cm) ●キット内容=壁材:ログ部材(ノッチ、開口、電気縦穴は加工済み)、ログ間の断熱材(ゴム系シーリング材)、巾木、通しボルト、緊結ボルト、タボ/床材:大引(防霉剤加圧注入材)、床板/天井材:小屋梁、野地板、天井板、鼻隠し、破風板、天井廻縁、シーリング・テープ/建具:木製建具(シングルガラス)、窓(木製シングルガラス・サッシ)、建具鎖線/デッキ:大引、床板(ともに防霉剤加圧注入材) / その他 図面一式、基礎伏図、相立図、施工マニュアル ●参考販売価格=62万円 ●輸入・販売=(株)TALOインターナショナル



完成祝いのバーベキュー。自分で育てた絶品枝豆、旬のサンマを堪能する。建築費用は〜タルで、キット以外の資材や道具で50万円ほどかかった。高いか?安い?

完成したミニログを前に、「作業は苦しいこともあったけど、こうしてでき上がったとみると、忘れてしまっただなあ」とこ満悦の児玉さん。時間的な問題、資金的な問題はあっても、一棟建ててみれば様子もわかり、自信もついた。「いつかは住めるくらいのログを……」という夢にも大きく前進したようだ。一方、奥様の静子さんはというと、「うーん、本人はいいけど、はたは迷惑ですよ。施工ビデオでは女の子が簡単にやってみよう

に見えるけど、そんなふうにはいかないです。もう二度とやりたくない!」というのが本音だとか。しかしミニログの満足度は?と聞くと「完成したから立派です。途中、できないかと思いましたが。100点をつけました。もともとは東京からの移住にも反対だったという静子さん。口では反対しながらも、いざ児玉さんが実行に取り掛ければ結局助けてしまいそうではある。ともあれ、1年に及んだミニログ奮闘記は、これで完結!